

## 令和4年度南河内病院連絡会（藤井寺保健所）結果（概要）

開催日時：12月21日(水) 場所：藤井寺保健所2階講堂

出席病院：別添一覧

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

#### 【全体】

○地域医療構想は病床機能別に今後の機能を検討しているが、診療科別での検討も必要ではないか。

#### 【病床機能の報告基準について】

○府の報告基準に従うことにより、診療報酬改定において希望する入院料が算定できなくなることを懸念する。また、中・長期的にみると、医療法の改正により民間病院に対しても強制的な病床転換の指示がなされるのではとも懸念する。

#### 【回復期病床の転換にかかる課題】

○回復期病床が不足しているということだが、診療報酬の算定要件が厳しくなり回復期での患者集めに苦労している医療機関があるとも聞いている。診療報酬算定の要件緩和が必要ではないか。

○地域包括ケア病床の役割の一つである在宅急変時対応の需要はあり、医介連携をしっかり進めていく必要がある。

#### 【その他】

・新興・再興感染症に関しては、感染症治療の対応を目的とした医療機関と他の疾患の治療目的だが感染患者の対応を行う医療機関の確保が必要となる。医療機関の確保にあたっては、目的に応じた要件を検討してもらいたい。

### 2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

#### (1) 公立・公的病院

特になし

#### (2) その他、民間病院等

##### ●松原徳洲会病院・松原中央病院

(病院への意見) 再編により回復期から過剰となる急性期に転換となるが、どのように考えているのか。

(病院の回答) 府の基準では回復期となっているが、病院としては急性期として考えている。また、当圏域は圏域の境界に位置しており、他圏域の患者も受けている。

## 令和4年度富田林保健所病院連絡会結果（概要）

開催日時：12月13日(火) 場所：富田林保健所講堂

出席病院：別添一覧

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

#### 【全体】

○南河内では病床機能分化が他圏域よりも順調に進んでいる。

○1つの病院の中に急性期、回復期などの病床機能が混在する方が、患者にとって負担が少ないので、病院毎に機能を分けていくという考えのみにとらわれない方がよい。

○病床数や、機能分担といった紋切り型で割り切っていくと本当に必要な地域の医療がわからなくなる。地域で断らない医療をめざすためには、特にジェネラルな能力を併せ持つ内科医が必要であり、教育も含めた人材の育成が今後の課題。

#### 【病床機能の報告基準について】

○特になし

#### 【回復期病床の転換にかかる課題】

○自院内での地域包括ケア病棟への転棟、転床率は60%を超えてはならないという診療報酬上の縛りがある。

○急性期から地域包括ケア病棟に転棟するが、再度重症化し、急性期に転棟が必要な事例がある。しかし、症状が改善し、回復期リハビリ病床へ転棟となっても、診療報酬の算定が困難なことがある。

### 2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

#### (3) 公立・公的病院

特になし

#### (4) その他、民間病院等

特になし